

洞爺湖町議会平成28年7月会議

議事日程(第1号)

平成28年7月20日(水曜日) 午前10時開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名について
- 日程第 2 諸般の報告について
- 日程第 3 行政報告について
- 日程第 4 議案第15号 平成28年度虻田郡洞爺湖町一般会計補正予算(第3号)

本日の会議に付した事件

日程第1～日程第4まで議事日程に同じ

出席議員(14名)

1番	岡崎	訓君	2番	越前谷	邦夫君
3番	五十嵐	篤雄君	4番	高臣	陽太君
5番	千葉	薫君	6番	立野	広志君
7番	小松	晃君	8番	沼田	松夫君
9番	板垣	正人君	10番	七戸	輝彦君
11番	篠原	功君	12番	大西	智君
13番	下道	英明君	14番	佐々木	良一君

欠席議員(0名)

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	真屋	敏春君	副町長	森	寿浩君
総務部長 兼 総務課長	伊藤	里志君	経済部長	澤	登勝義君
洞爺総合 支所長	大西	康典君	企画防災 課長	鈴木	清隆君
税務財政 課長	佐藤	久志君	観光振興 課長 兼洞爺湖 温泉支所長	佐々木	清志君

産業振興課長 佐藤孝之君 教育長 遠藤秀男君
代表監査委員 宮崎秀雄君

職務のため出席した者の職氏名

事務局長 毛利敏夫 庶務係長
兼議事係長 平間義陸
庶務係 阿部はるか

開議の宣言

議長（佐々木良一君） 皆さん、おはようございます。

ただいまから、洞爺湖町議会平成28年7月会議を開会いたします。

現在の出席議員は14名全員であります。

定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

（午前10時00分）

会議録署名議員の指名について

議長（佐々木良一君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員には、会議規則第120条の規定により、11番、篠原議員、12番、大西議員を指名いたします。

諸般の報告について

○議長（佐々木良一君） 日程第2、諸般の報告を行います。

諸般の報告は、お手元に配付のとおりでありますので、これでご了承願います。

ここで、議会運営委員会の所管事務調査の報告を願います。

小松委員長。

議会運営委員会委員長（小松 晃君） おはようございます。

読み上げて報告します。

所管事務調査報告書。平成28年7月20日。洞爺湖町議会議長佐々木良一様。議会運営委員会委員長小松晃。

本委員会は、所管事務調査のため、次のとおり委員会を開催したので、その結果を報告します。

記。

1、調査事項、洞爺湖町議会平成28年7月会議の運営について。

2、調査日、平成28年7月19日、火曜日。

3、出席委員、私、岡崎副委員長、越前谷委員、五十嵐委員、七戸委員、大西委員。

委員外として、下道副議長の出席をいただいております。

説明員は、森副町長です。

結果、地方自治法第102条の2第7項に基づく洞爺湖町議会平成28年7月会議の開議請求に伴い、本委員会を開催し議会運営のための所要の協議を行い、その結果は次のとおりであります。

会議期間については、7月20日、1日間。

議事日程については、7月20日、本会議。

以上でございます。

○議長（佐々木良一君） 以上で、諸般の報告を終わります。

会議の審議日数は、本日1日を予定しておりますので、議事運営にご協力をお願い申し上げます。

行政報告について

議長（佐々木良一君） 日程第3、行政報告を行います。

町長並びに教育長から行政報告の申し出がありますので、これを許します。

初めに、町長の行政報告を許します。

真屋町長。

町長（真屋敏春君） 平成28年7月20日、洞爺湖町議会、平成28年7月会議に町の行政報告を申し上げます。

一つ目に、寄附についてでございます。

前会議から本会議までの間、次の方々より寄附の申し出があり、ご厚志に沿うようありがたく受納いたしました。

一つ目に、金員の寄附でございまして、ふるさと納税寄附金として、個人（匿名含む）、327件、金額が546万2,000円でございます。

次に、（2）として、物品の寄附でございまして、一つ目に、洞爺湖町本町191番地、小齋總子氏、書道専門辞書130冊でございます。次に、洞爺湖町洞爺湖温泉144番地59、山本和子氏、びょうぶ1点でございます。

二つ目に、町長ポストの設置についてでございます。

7月1日より、町民の皆様からの「声」をよりよいまちづくりに生かすため、本庁舎ロビー、洞爺総合支所窓口及び洞爺湖温泉支所窓口に町長ポストを設置しております。

今後は、町長ポストに寄せられた「声」に真摯に対応し、町民の皆様や地域の意見を反映させたまちづくりに取り組んでいくこととしております。

三つ目に、熊本地震災害の義援金についてでございます。

熊本地震災害の被災者の方々の生活支援と被災地域の復興を願い、洞爺湖町自治会、日赤北海道支部洞爺湖町分区、洞爺湖町共同募金委員会、洞爺湖町社会福祉協議会及び洞爺湖町の5団体共同で自治会を通じて封筒募金をお願いしておりましたが、次のとおりたくさんの方々の義援金の寄託があり、全額を6月17日に熊本県共同募金会に送金いたしました。

また、町が公共施設6カ所に設置しておりました募金箱につきましても、多くの方々より善意の募金が寄せられており、町内の団体及び事業所からお預かりした義援金と合わせて、全額を7月15日に熊本県に送金いたしました。

ご理解、ご支援をいただきました町民の皆様、団体及び事業所並びに議員各位に心よりお礼を申し上げます。

封筒募金といたしまして、43自治会、2,102件、金額といたしまして334万7,801円、募金箱には、4万2,253円、団体等からの義援金といたしまして、洞爺湖温泉飲食店組合様から

10万円、ななかまどの会代表、坂井千枝様から10万円、有限会社フィール代表、横山節子様から5万円、メロディー、アンジュール、ジュテーム様から7万2,388円、西館歌謡連合会様から3万円、それぞれ寄附をいただいております。

4といたしまして、各種事務事業の取り組み状況について、前会議から本会議までの各種事務事業の取り組み状況につきまして、次のとおりご報告いたします。

なお、朗読については、省略させていただきます。

以上でございます。

議長（佐々木良一君） 以上で町長の行政報告を終わります。

次に、教育長の行政報告を許します。

遠藤教育長。

教育長（遠藤秀男君） 教育委員会の行政報告を申し上げます。

1点目でございます。

公立高等学校配置計画案についてでございます。

去る6月7日、北海道教育委員会は平成29年度から31年度に係る公立高等学校配置計画案と、平成32年度から平成35年度までの見通しを公表しました。

胆振西学区に関しては、平成31年度に室蘭工業高等学校で1学級減、学科は検討中とされています。学区の検討事項として、平成32年度以降、平成35年度までに中卒者が189人減少することが見込まれることから、「4年間で3～4学級相当の調整が必要」、「これまでの調整の状況や学校・学科の配置状況を考慮し、室蘭市内や登別市内において定員調整の検討が必要」、また、「伊達市内において、欠員の状況や望ましい学校規模を下回る学校があることを考慮し、再編を含めた定員調整の検討が必要」となっています。

胆振西学区では7月12日に開催されましたが、今後、各地域での検討協議会の協議内容などを参考に、9月には計画決定の予定となっております。

下段に道教委作成の胆振西学区高校配置計画案を掲載してございます。参考にいただければと思います。

次に、2点目でございます。

各種事務事業の取り組み状況について。前会議から本会議までの各種事務事業の取り組み状況について、次のとおり報告いたします。

4項目ございますが、朗読は省略させていただきます。

以上でございます。

議長（佐々木良一君） 以上で行政報告を終わります。

議案第15号の上程、説明、質疑、討論、採決

議長（佐々木良一君） 日程第4、議案第15号平成28年度虻田郡洞爺湖町一般会計補正予算についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

森副町長。

副町長（森 寿浩君） それでは、議案書の1ページでございます。

議案第15号平成28年度虻田郡洞爺湖町一般会計補正予算（第3号）でございます。

平成28年度虻田郡洞爺湖町一般会計補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

第1条でございます。

歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳出予算の金額は「第1表歳出予算補正」によるところでございます。

それでは、事項別明細書でご説明させていただきます。

3ページ、4ページをお開き願います。

歳出、2款総務費、1項総務管理費、8目企画費でございます。5万5,000円の増額補正でございます。ようてい・西いぶり広域連携会議負担金の増でございます。

この連携会議は、札幌市南区を含む西胆振・後志圏の15市区町村により構成されている連携会議でございます。観光の連携、それから、防災的な連携を主として取り組みを進めております。今年度は、総事業費として120万円で、そのうち洞爺湖町の負担分が5万5,000円ということでございます。事業的には、観光にかかわる講演会の開催や研修会、視察研修などが計画されております。

続いて、7款商工費、1項商工費、1目商工振興費でございます。60万円の増額補正でございます。地熱資源開発検討委員会補助金として計上しております。

これにつきましては、町内の地熱資源について、未評価地域である西山を中心とした虻田側のエリアで、将来に向け、地熱を活用した発電事業や農業関連事業などを行うことが可能かどうか、そういった可能性を調査するための地表の探査あるいは情報収集などを行う事業でございます。

事業主体は町、商工会、とうや湖農協、洞爺湖温泉利用協同組合を構成員とする地熱資源開発検討委員会でございます。

事業費総額は180万円でございまして、このうち3分の2が道の補助でございます。残る3分の1、60万円を助成するものでございます。

事業内容については、地熱探査業務の委託が主なものとなります。

続いて、7款商工費の2項観光費、1目観光振興費でございます。421万2,000円の増額補正でございます。洞爺湖温泉開湯100年記念事業補助金でございまして、イベント用の野外ステージを整備する事業でございます。

今回整備するステージは、設置、撤去も簡易で長期設置も可能なことから、年間を通じた各種イベントにも活用できるということで、この際、整備するものでございます。

続いて、14款予備費でございます。予備費については、486万7,000円の減額でございまして、補正の部分を全て予備費で充当するというところでございます。予備費の残額については、4,292万2,000円となります。

以上、ご提案を申し上げます。

○議長（佐々木良一君） 提案理由の説明を終わります。

これから、質疑を行います。

質疑はありませんか。

3番、五十嵐議員。

3番（五十嵐篤雄君） 観光費の421万円の補正の件でございますが、移動型の野外ステージを設置するということでございますけれども、こういうものが今までなかったので大変いい取り組みだと思います。もっと積極的に、いろいろなイベントに貸し出すというようなことも、どんどん進めていていただきたいと思います。

そのときに、ちょっと確認なのですが、これは組み立てたりするのに専門的な方でないといけないのか、お手伝いで人が集まれば、みんなで持ち寄って組み立てができるのか、これによっても、ちょっと貸し出し方法が変わってくるかなと思うのです。

その辺をまず、お聞きしたいと思います。

議長（佐々木良一君） 佐々木観光振興課長。

観光振興課長（佐々木清志君） 今のご質問でございますけれども、野外特設ステージと言いまして、ロングラン花火期間中でございます4月の末から10月の末まで、これは常設いたします。この期間、常設するという形でございます。冬期は台風ですとか、風の強さということもございますので外します。

これらの設置、撤去につきましては専門家が必要でございます。経費につきましては観光協会がお支払いするということで確約済みでございます。

また、これの維持管理等、特に心配されるものにつきましては屋根幕がありまして、風による倒壊というのですか。これらについても建築確認の基準ですか、そういうものを全てクリアして、今回、設置になったということでございます。

マラソンのごみ拾いから始まりましてマラソン大会から、今、あそこを使っているイベントが年間、七つほどあります。また、今、議員がおっしゃいました民間の貸し出しというのですか、歌を歌いたいとか、結構いろいろな方もいるのですが、これらによって、積極的に民間に貸し出せるのかなというようなことは考えてございます。

以上でございます。

○議長（佐々木良一君） 五十嵐議員。

3番（五十嵐篤雄君） 内容はわかりましたけれども、あの地帯に半年、4、5、6、7、8、9、10、移動可能なので環境省等の問題はないのかという点が1点と、あとはやはり、広いところでああいうものがあると、もう少しいろいろなイベントに非常に有効に活用できるのかなと。今の貸し出し方法というのは、その場に来て設置してあるところでイベントを行わないとできない形なので。

専門家で組み立てが必要だということですから、ちょっと不可能かなと思うのですが、広いところでやるためには、何というのでしょうか、場所を固定しない、そういう移動型ですね。これは移動できればいいなと思って聞いたのですけれども、半固定的なので、とても残

念です。そういうことはわかりましたけれども、環境省の問題だけ、クリアされているかどうかだけ確認します。

議長（佐々木良一君） 佐々木観光振興課長。

観光振興課長（佐々木清志君） 環境省の許可を得る準備をしております、内諾は得ております。

議長（佐々木良一君） 6番、立野議員。

6番（立野広志君） 最初に、総務費のようてい・西いぶり広域連携会議負担金ということで、当町の場合、5万5,000円が負担されるということです。設置の目的は、15市区町村が集まって、防災、観光等についての連携を図るということで、実際に、事業としては講演会であったり、視察研修であったりということなのですが、この連携会議の目的や、これが目指しているものが何なのかということ、もう少し説明いただければなというふうに思います。そして、今回、例えば講演会であり、視察研修であり、こういったものが予定されているようでありましてけれども、この中身についても説明をいただきたいと思います。

それから、今、質疑がありましたが、商工費の屋外ステージ整備なのですが、盛んに移動型だという話をしているようです。何か所管の経済常任委員会のほうには、図面も示して、どういう構造物なのかということが出されているようですが、私は総務の委員会に属しているものですから、図面も見たことがありません。そして、今回、議案として出したときに説明資料としてつくのかなと思ったら、それもないということなので、どういうものなのか全然イメージが湧かないのです。ただ、聞いていると、移動型ではなくて、脚を完全に固定して、その脚に、土台に組み立てていくというものだったのではないかなというふうに思うので、これは決して移動型ではないなということと、今回、これが設置されることになった、何といいますか、動機というのか経過といえますかね。これまでも、天候によって、雨が降ったり、いろいろあって、ステージが使いにくいという面はあったのかもしれませんが、今回、この100年事業の中で設置することになったきっかけというのは、何かあったのかどうか。この辺も、ちょっと説明をいただきたいと思います。

議長（佐々木良一君） 鈴木企画防災課長。

企画防災課長（鈴木清隆君） ようてい・西いぶり広域連携会議でありますけれども、先ほど議員もお話しされたとおり、羊蹄山麓7町村、また西胆振6市町、そして、札幌市南区、また白老町、それと北海道開発局小樽開発建設部、札幌、また室蘭開発建設部、それと振興局であります、後志、胆振、石狩の振興局の方々が加盟して活動しているところであります。

目的に関しましては、この圏域の中で、市町区で事業を行っていく中で、やはり人の流れという部分では、市町を越えて流れていることが多くなっております。一つには、観光客において、やはりニセコ方面からの外国人の方々、また、自転車を活用してこちらの洞爺湖のほうへ来られるの方々、そういう方々の人の交流がしっかりとできている中で、圏域を越えて交流し、いろいろな目的を達成していくという形で作り上げているところであります。

また、今後につきましては、北海道新幹線が15年後には札幌まで延伸する中で、人の流れが大きく変わっていくこともございます。

そうした中で、この事業の目的を達成するために、一つには観光対策という部分、もう一つには防災対策という部分、そして、人口減少対策という三つの部会を開催して、今、事業をとり行っているところであります。

今年度は120万円の予算の中で、研修会なり、いろいろな講演会等の開催を予定しておりますけれども、講演会に関しましては、8月に防災に対する講師を招きまして、防災に対する研修会をすることとしております。

今回、1年ほど経過している中で、一つ、大きく変わっているところは、例えば、有珠山噴火においても、今までは、後志の方々は、振興局の職員の方々も、有珠山が噴火したという感覚で見えていたところですけども、今は、そういう災害が起きたとき、胆振に何かお手伝いできることがないだろうか。そういう意識が、まず一つ変わってきているところであります。今後とも、そういう連携をとりながら、防災なり観光なり、また人口減少において、いろいろな検討をしていく予定としております。以上です。

議長（佐々木良一君） 佐々木観光振興課長。

観光振興課長（佐々木清志君） 今の屋外ステージの、いつぐらいから検討してというイメージというようなことですが、これにつきましては、洞爺湖温泉の観光協会が主体となりまして、6年前、洞爺湖温泉誕生100年というのがございまして、当時は湖畔カフェとかいろいろとやったのですが、湖畔にステージが欲しいという要望があって、関係機関等の調整がつかないというのが、ずっと課題でございました。建築確認の問題、道路占有許可の問題、一番きついのが環境省の問題で、色ですとか、そういうものと、あと基準、それらを昨年来、協議しておりまして、ようやく全ての許可が得られるという見込みになりました。

協会としましては、ことし100年でございます。101年目に向かって、新たなイベント、民間的なイベントを呼び込みたいという形で企画されている次第でございまして、来年度以降、積極的に活用したいというのが設置者側の意図でございます。

移動式ということはありません。基礎が入っておりますので、毎年、その位置に建てるという形になって、柱が6本、ございまして、それについては、また後ほど説明させていただきます。

議長（佐々木良一君） 澤登経済部長。

経済部長（澤登勝義君） 今回のテントのイメージ図というところですが、後ほどお示しさせていただきますというふうに思っておりますので、ご了承をお願いします。

議長（佐々木良一君） そのほか、質疑はありませんか。

6番、立野議員。

6番（立野広志君） 最初のほうの質問なのですが、広域的な自治体同士の連携・協議というのが、うちの場合はいろいろな団体がありますよね。それぞれ、どういうふうに使分け

ていくのか、余りにも多過ぎるものだから。

今、課長が答えられたことも、従来から、広域でいろいろと自治体間が協議会を持って、観光振興をやったり、あるいは、一致して道や国に要望を上げたりといったものは、期成会も含めて、ありますよね。そういったものと、この広域の連携会議というものが、どういふふうに連携していくものなのか。

新幹線の延伸に伴う、いわゆる観光振興と申しますか、何かそれが主要な目的になっているのか。あるいは、そのほかに、今、説明いただいたような防災や、あるいは、何と申しましたか、人口対策。こんなことも主要なテーマになっているということですから、そうすると、これまでである期成会であったり、協議会であったり、広域連携をしているものとの兼ね合いというのが、どうも整理がつかないのです、私ね。

もしできれば、そういったものを比較して何が違うのか、それぞれわかるように説明いただけないでしょうか。

議長（佐々木良一君） 真屋町長。

町長（真屋敏春君） 私どもの地域、胆振の関係でございますけれども、今、いろいろな開発期成会あるいは協議会がございます。

特に、これは胆振に特化したものといひましょうか、今ある期成会の中では、登別洞爺広域観光圏の協議会、さらには室蘭開発期成会、さらには定住自立圏の協議会、そして有珠防災会議協議会、これはこの地域、特に胆振地域に特化した協議会、期成会になっております。

そんな中、以前から、議員のほうからも提案がありましたとおり、圏域を越えたいわゆる協議会なり、あるいは何かの連携ができないだろうかということで、今まで、特に羊蹄山麓のほうとも、私どもはいろいろなお話し合いをさせていただいております。

特に大きな問題として、国道230号線があります。これは、札幌から私どものまちまで通っている道路でございますけれども、今、建設年次から相当年数がたっているということで、中山峠付近で相当の土砂崩れ等々も発生しておることから、何とかこの札幌、洞爺湖間を結ぶ道路をもっと効率のいい道路にしていただけないだろうかという協議もしております。

さらには、私どものまちが中心となって、今までアイアンマンのレースも開催させていただいております。残念ながら、こちらにつきましては、主催者である会社側の金銭的問題で、3年間で一応休止という状態になったわけでございますが、これまで培った3年間のいわゆる実績、交流の輪ができておったと。そんな中、今、ニセコ方面、あるいはひらふ方面からも、洞爺湖温泉のほうに観光客の方に多く来ていただいております、今も、サイクリングの情報交換等々をさせていただいております。

私どものまちにも、ラリー選手権大会も来ていただいております、こちらにつきましても、羊蹄山麓のほうと連携をしております。

私どもの地域は、特に有珠山を控えておりまして、大きな災害がたび重なって起きている

わけでございます。有珠防災会議はありますけれども、それらと、さらには羊蹄山麓のほうも何かお手伝いができることはないかというお話し合いをさせていただいているところでございまして、そういうものをトータルして、西いぶりと、あるいは羊蹄山麓のほうと、これからも何か連携ができないだろうか。かた苦しい名称はまだつけておりませんが、そのものが、これを国のほう、あるいは道のほうに固まって要望しようというときには、恐らく期成会ですとか、そういうものに発展していくのかなというふうには思います。今は、とりあえず皆さんで協力できるところから協力し合いましょうということで、連携会議を今回、設置させていただいているところでございます。

議長（佐々木良一君） そのほか、質疑はありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

議長（佐々木良一君） 質疑なしと認めます。

これで、質疑を終わります。

これから、討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

議長（佐々木良一君） 討論なしと認めます。

これから、議案第15号平成28年度虻田郡洞爺湖町一般会計補正予算についてを採決します。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

議長（佐々木良一君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第15号平成28年度虻田郡洞爺湖町一般会計補正予算については、原案のとおり可決されました。

散会の宣告

議長（佐々木良一君） 以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

あすから9月の定例日の前日までは休会となっていますので、ご承知願います。

本日は、これをもって散会いたします。

ご苦労さまでした。

（午前10時31分）

会議の経過は以上のとおり相違ないことを証するためにここに署名する。

平成 年 月 日

議 長

署 名 議 員

署 名 議 員